

花乃井だより

学校
通信

令和2年6月10日(水)

第8号

大阪市立花乃井中学校



暑い中で頑張ってます!!

授業が再開されてから1週間が過ぎました。連日暑い中で皆さん頑張っています。特に運動場での体育は日差しが厳しく大変ですが、集団行動やラジオ体操など、軽めの運動から始めています。水道ホースにミストホースをつないで暑さ対策をしてみました。また、フィジカルディスタンスを配慮して大縄跳びも実施しました。教室では換気に気を使いながらエアコンを使用しています。



↑(ラジオ体操 イチ! ニ!) (ミストホース) ↑

これから真夏へ向けて新型コロナ対策と並行して熱中症の対策も進めていかなければなりません。また梅雨にも入っていきますので、食中毒等の対策も忘れてはいけない時期です。どれも大切なことですので、体調の管理にしっかり気をつけてください。また、じめじめ暑いと気力も衰えがちです。生活リズムを整えて心配事等、不安なことがあればお家の人はもちろんのこと、学校の先生やスクールカウンセラーの先生に必ず相談しましょう。

梅雨を迎えます!!

大阪も今週中には梅雨に入ると思われます。日本には雨の別名が千以上もあるそうです。降り方によって、季節、地域によってさまざまな言い方をします。この時季、青葉に降りかかる雨を「青葉雨」と呼び、したたり落ちる水滴を「青時雨」「青葉時雨」といいます。また、梅雨に換わる言葉も、五月雨、黄梅の雨、麦雨(ばくう)、梅霖(ばいりん)、黴雨(ばいう)と多様です。

日本の年間降水量の平均は約1700ミリで世界平均の2倍にもなります。だから暮らしに身近で、自然を感じるもの一つなのかもしれません。「雨は花の父母」との言葉もあり、草木を育み、花を咲かせる雨はよく父母にたとえられます。さらに、わけへだてなく公平に降り注ぐこともよくいわれていることです。また、夏以降の水不足を解消する恵みの雨ともいえます。「いやな雨だな」と思うか「大切な雨だな」と思うかは心しだい。この時季、雨について考えを広げてみてはどうでしょうか。

6月12日は創立記念日

【花乃井中学校の歴史】 花乃井中学校は明治5年小学校設置令に基づいて、もとの石見国津和野藩の蔵屋敷跡に、大阪府摂津国西区第四小学校として創設されました。その後、江戸堀尋常高等学校など、年とともに名前もいろいろ変わり、昭和21年、戦争は学校に大きな戦災の爪あとを残して一時休校となりました。戦後、新しい六・三制教育の出発にともなって、大阪市立西第二中学校として出発しました。その年の5月に、本校敷地内にある「此花乃井」にちなんで大阪市立花乃井中学校という名称になりました。そして同年6月12日に開校記念式典を行ったので、この日が改めて創立記念日となったのです。

「此花乃井」は江戸時代津和野藩の蔵屋敷であったころから浄水として使われていた由緒深い井戸です。「此花乃井」は当時より通称「花乃井」として使用され、浪速三大名水の一つとして次のように謳われました。井戸の名称の「此花乃井」は古歌（王仁の歌）よりも



「此花乃井」は、昭和58年（1982年）までは、校庭にありましたが、新校舎工事のため移築され、現在の、校地の東北角の場所に復元されました。

【名水「此花乃井」を表した校章】

花乃井中学校の校章は、花びらと井戸の井を取り合わせたものです。



浪速津に 咲くや此の花 冬ごもり
今を春べと 咲くや此の花

【校訓「自主・協調・責任】

人権感覚豊かな「自主性・協調性・責任感」のある生徒の育成をめざしています。

花乃井中学校は、多くの皆様方のおかげで、昨年創立70年の歴史を刻みました。多くの皆様方に感謝を込めて、また、将来の皆様方のご健勝を祈りながら、今後80周年・100周年へと発展してまいります。

生徒の皆さんには、今までの卒業生の方々、保護者・地域の関係者の皆様方、花乃井中学校に関わってこられた多くの方々が築かれた輝かしい歴史と伝統を大切に、未来に向かって、更にすばらしい花乃井中学校を創造し、新たな伝統を皆さん之力で築いてもらいたいと願っています。

教職員一同、花乃井中学校が益々発展していくよう、努力してまいります。保護者の皆様方におかれましては、改めてご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。